

## 基金の増額（基金総額2,200億円）について

明治生命保険相互会社（社長 金子 亮太郎）では、自己資本を充実させ、経営基盤をより一層強固なものとするため、2002年7月に基金600億円を再募集することいたしました。これにより、当社の基金総額は、基金償却積立金とあわせて、2,200億円となる予定です。

基金とは、株式会社の資本に相当する性格をもつ資金で、保険相互会社の財産的基礎となるものです。

また、基金の募集後には、下図のように償却（償還）に備えて、内部留保（基金償却積立金、基金償却準備金）を計画的に積みましていきますので、基金が償却された後でも財産的基礎が守られ、経営の健全性が確保されます。

当社では、健全性の高い経営基盤を構築するため、効率化への取り組みとともに、保険会社を取り巻く様々なリスクを軽減し、お客さまの保険契約を確実に履行できるように、危険準備金等の内部留保の積み増しや基金の再募集等により自己資本の充実に努めています。

今回の600億円の基金募集は、96年度の590億円、98年度の600億円、2000年度の400億円に続く4回目の再募集となり、経営基盤が一層強化されることとなります。

払込期日	2002年7月（予定）
募集額	600億円
償却期間	5年(2005年度より償却開始)
償却方法	期限一括

